

わたしの 防災バッグづくり

さいがい とき も だ ぼうさい ひつよう
災害の時に持ち出す【防災バッグ】に必要なもののリストをつくってみましょう。

作り方

□あなたが、避難するときに持っていくものを下の絵から選び、○をつけましょう

□下の絵以外に、必要なものがあるときは、[わたしが必要なもの]に書きましょう



わたしが必要なもの



| | |
|--|--|
| | |
| | |



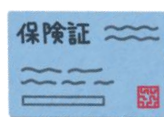
・くすり



・おくすり手帳



・診察券



・健康保険証



・マイナンバーカードや
運転免許証などの
身分証明書



・ヘルプマーク/
ヘルプカード



・障害者手帳



・携帯電話/
スマートフォン



・充電器
・モバイル
バッテリー



・マスク



・懐中電灯
・携帯ラジオ
・イヤホン



・水 / 飲み物
・食品



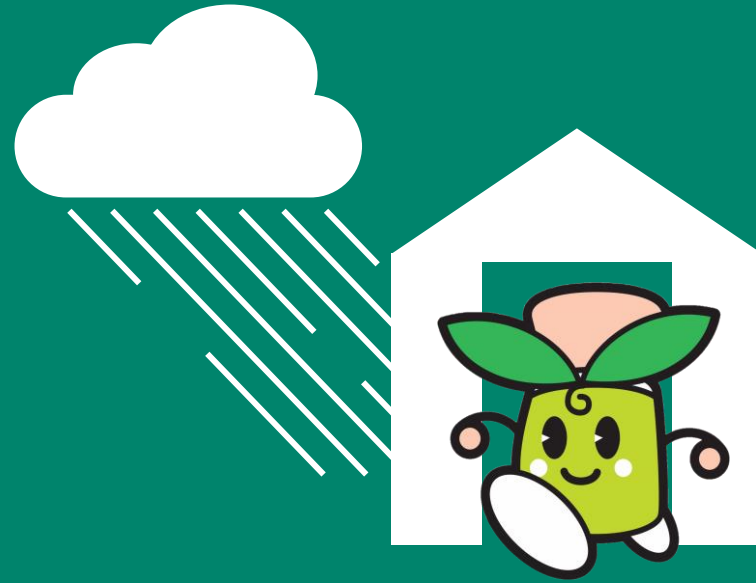
・タオル



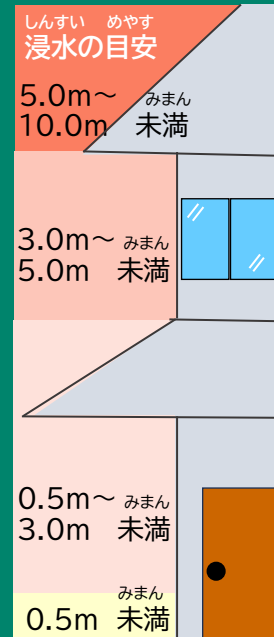
・衣類 / 下着
・おむつ
・生理用品



・現金 / 財布



いこ マイ・タイムライン



わたしの避難情報

わたしは

いつ

どこへ

なにで

(約 分でつきます)

避難します

わたしは

いつ

だれに

連絡先

連絡します

いこまししょう しゃちいきじりつ しえんきょうぎかい ぶかい
生駒市障がい者地域自立支援協議会 暮らし部会

ぼうさい あんぜん か かんしゅう
(防災安全課監修)

水害・土砂災害 いこマイ・タイムライン

マイ・タイムライン(いこマイ・タイムライン)は、生駒市にお住まいのみなさん、おひとりずつの災害の時に役立つ計画を書くものです。大雨・台風が近づいてきて、川があふれそうな時などに、あなたとあなたの家族の命を守るために、「いま、何をすればよいか」をまとめるためのものです。



| 警戒レベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|--------|---|--|---|---|--|
| 避難情報 | これから大雨になる可能性があります (大雨・台風に関する予報) | 避難の準備をしてください (自主避難など注意の呼びかけ) | 障がいのある人や高齢の人は避難してください (高齢者等避難) | 全員が避難してください (避難指示) | 今いるところで一番安全にしてください (緊急安全確保) |
| 防災気象情報 | 大雨に関する気象情報 土砂災害に関する気象情報 | 大雨・洪水注意報 | 大雨・洪水警報 | 大雨特別警報 | 大雨特別警報 |
| わたしの行動 | <ul style="list-style-type: none"> 天気予報をみましょう 『わたしの防災情報の集め方』で確認の方法をチェック 防災バッグの中身がそろっているか、みておきましょう ハザードマップをみて、自分の家が避難すべき危険な場所にあるのか確認しましょう(赤色がついている場所に住んでいる、障がいのある人は警戒レベル3で避難しましょう) | <ul style="list-style-type: none"> いつ・どこへ・どんな方法で避難するのか、『わたしの避難情報(表紙)』をみて確認します 玄関に防災バッグを準備しましょう 携帯電話を充電しておきましょう 家族や支援者と、いつ避難をするか相談しましょう | <ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいるところに警戒レベル3【高齢者等避難】がでたら、あらかじめ決めた避難先に避難をはじめます 『わたしの避難情報(表紙)』で確認 避難場所が開いているか、雨の降りを『わたしの防災情報の集め方』で確認します 危険な場所に住んでいる場合、避難をはじめましょう | <ul style="list-style-type: none"> 自分が住んでいるところに警戒レベル4【避難指示】がでたら、かならずあらかじめ決めた避難先に避難を完了する 避難を終えたら、もう一度『わたしの防災情報の集め方』で情報を確認します | <ul style="list-style-type: none"> 命の危険あり 避難できないときは近くの大きな建物や、家の2階以上で斜面から遠い部屋など、できるかぎり水や土砂がこない高い場所にいきます |

わたしの防災情報の集め方

テレビ ラジオ 防災無線/教えてダイヤル (050-5212-5255) 携帯電話/スマートフォン (LINE/エリアメール等)

生駒市のホームページ 生駒市の防災情報 生駒市緊急災害情報メール

※警戒レベル1、2は気象庁が発表、警戒レベル3～5は生駒市が発令します。

日ごろから備えておくこと

- 防災バッグ(非常持出品)を準備しましょう
- 『わたしの防災バッグづくり(裏表紙)』で必要なもののリストをつくっておきます
- テレビ・インターネット・新聞などで防災対策の情報をみてみましょう
- ハザードマップをみて、避難する場所までの行き方をかんがえておきましょう
- 家族や支援者と、災害がおきたとき、どう行動すればよいか相談しておきましょう
- 避難訓練に参加しましょう

